

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2014 年度第 2 回理事会
日 時	2014 年 11 月 30 日 (日) 13:00~16:30
場 所	西宮市市民交流センター C会議室
参 加 者	理事 側垣 江口 島村 鷺見 長谷 古野
欠 席 者	理事 家本 西澤 監事 能島 森本
事 務 局	重松
議 案	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 2014 年度事業について</p> <p>(2) RTC 関連報告</p> <p>(3) 会計報告/会員状況について</p> <p>(4) NPO パナソニックファンドによる助成事業終了報告</p> <p>(5) ホームページリニューアル進捗状況について</p> <p>(6) 寄付事業 READYFOR?およびE-ファンドレイジングチャレンジ報告</p> <p>(7) 2015 年事業予定について</p> <p>2. 協議事項・審議事項</p> <p>(1) 2015 年度事業方針案および事業計画案立案のスケジュールについての検討</p> <p>(2) RTC 間協力会合の開催について</p> <p>(3) 正会員入会について</p> <p>(4) 認証規格プロジェクト進捗状況報告ならびに意見交換</p>
【報告事項】	
(1) 2014 年度事業について	<p>2014年5~7月までの事業については、8月にメールにて報告済みのため、8月以降の事業報告が行われた。第1事業では、「資格更新のための必須研修」を1回、社会的養護の現場でのCAPプログラムに関する研修を1回実施した。当初予定していた「資格更新のための必須研修」2回、「CAPスペシャリスト養成講座」1回は申込み人数(3人以下)が少なかったために中止した。第2事業では、「子どもへの暴力防止のための基礎講座」を2回、初めての実施となる「幼児期の子どもの生きる力を育む 子育て支援講座」を1回、西澤理事に講師をお願いした専門職研修「虐待を受けた子どもの心」を実施した。また、日本学校保健研修社より依頼があり養護教諭対象月刊誌『健』へ寄稿した。</p> <p>第6事業では、9月にISPCAN/JaSPCANに参加し、ICAPから情報を得ながら制作した世界のCAPについてのパネル展示を行った。大学からの依頼で人権啓発講座、社会起業講座を各1コマ担当した。他団体とのネットワークでは、11月に実施した関西子どもの権利条約フォーラム2014および子どもの権利条約フォーラム(開催は東京)に準備段階から参画した。</p>
(2) RTC 関連報告	<p>2014年11月現在、活動認定証所有者は1,027人(これまでの総発行数1,293人)となっている。更新期限を過ぎ、猶予期間中の方には、更新研修を受けていただくことを連絡しており、今年度から1回目の更新研修受講については、より受講の機会を増やすために、CAP スペシャリスト養成講座の2日(終日トータル研修)の受講での対応も行っている。</p> <p>ICAPとは、5月にCCJから2013年度の事業報告後、現在ICAPが協働している研究者の講演が行われる第3回神戸アニマルケア国際会議参加へお誘い(7月19日参加、講演者と挨拶)があり、CCJがISPCAN/JaSPCAN展示のためのパネル制作についてアドバイスを受けるなど頻繁なやりとりを行った。</p> <p>J-CAPTAがISPCAN/JaSPCANにおいて、ユニセフとの協働事業「被災地でのCAP活動」について発表した分科会に参加した。また、中学生暴力防止プログラムトレーナー養成について実施候補日と予算書の提出をお願いしている。</p>

<p>(3) 会計報告/会員状況について</p>	<p>上半期の会計報告が行なわれた。会費収入については、正会員数が昨年度より若干減、活動会員数は減少の傾向にあるので、全会費予算の約 8 割となっている。事業収入については、今年度の事業は下半期に集中しており、上半期終了時点では、予算と照らし合わせかなり厳しい状況にある。当初事業計画にはなかったクラウドファンディング（寄付）事業は無事成立したため、寄付額は前年度を上回る予定。支出については、4 月以降、事務所の家主より家賃増額の申し出があったため、交渉して、先方が希望される増額分を今年度と来年度の 2 段階に分けて対応することになった。例年以上に厳しい状況にあるので、下半期の事業へ広報を強化し収入増額をめざしていく予定。</p>
<p>(4) NPO パナソニックファンによる助成事業終了報告</p>	<p>2011 年 11 月～2014 年 6 月までの 3 年間にわたった組織基盤強化助成事業が、7 月の報告会での報告をもって終了し、パナソニック株式会社から「修了書」をいただいた。この 3 年間で、中長期計画・目標の設定、社会発信力の強化、地域の CAP 活動の拠点強化を組織基盤強化として行ってきたが、その経緯で学んだこと・得たことはたいへん多く、今後の団体運営につなげていきたい。</p>
<p>(5) ホームページリニューアル進捗状況について</p>	<p>ホームページのリニューアルは 6 月より NPO 法人サービスグラントの助成を受け、パナソニック社員によって構成されたプロボノチームをお願いしており、年度末には完成の予定。</p>
<p>(6) 寄付事業 READYFOR? および E-ファンドレイジングチャレンジ報告</p>	<p>クラウドファンディング READYFOR? で、おとなの幼児期への子どもの関わり的重要性を知っていただくために、日常生活のなかで、チャイルドビジョンを意識する機会を設けることを目的に、5 月 26 日～8 月 4 日『子どもだけに見える世界「チャイルドビジョンのうた」を届けたい』プロジェクトを実施した。123 人（団体）からのご支援額は 1,298,000 円（READYFOR への手数料 17%・消費税を含む）で目標額（120 万円）を達成することができた。10 月 21 日にプロミュージシャンに協力いただき、劇団ひまわり所属の小学 1 年生女子にヴォーカルをお願いしてレコーディングを行った。CD ジャケットは今年度初めに作成したリーフレットでもお世話になった商業デザイナーにデザインを依頼し、現在 2,000 枚の CD を制作中。12 月下旬には完成し、寄付者への送付、頒布を開始する。</p>
<p>(7) 2015 年事業予定について</p>	<p>*クラウドファンディング: 主旨をご理解いただき任意の額をご寄付という形態ではなく、引換券の購入というカタチをとって、寄付者にも何らかのサービスが受けられるようにして、その参加を促すシステム。</p> <p>公益財団法人パブリックリソース財団が運営する「第 3 回 E-ファンドレイジングチャレンジ」に、10 月 1 日～10 月 31 日「“児童養護施設で暮らす子どもたちの声” を届ける」プロジェクトで参加した。児童養護施設やそこで暮らす子どもへの理解を進め、正しい認識をもって子どもの育ちを支える環境を整えるために、児童養護施設等社会的養護の現場への CAP プログラム提供を通して、そこで出会った子ども達の声や、児童養護施設で働く人たちの声を 2015 年度にブックレットとして作成・発行する。52 人（団体）の方からのご支援額は 262,177 円（Give One への手数料 15%を含む）で、当初の目標金額 50 万円をめざし、本プロジェクトは継続している。</p> <p>例年秋に CAP グループに実施希望をリサーチし、2015 年度はすでに、「子どもへの暴力防止のための基礎講座」3 か所、「CAP スペシャリスト養成講座」2 か所での実施が決定した。阪急阪神ホールディングスが過去に助成した団体と協働で、2015 年春に親子イベントを行う企画に対し、CCJ の企画も採用され、4 月 3 日に「なるほど!! 体感 子どもの視点&親子で楽しむウクレレライブ～安心・安全生活を送ろう～」を行う。</p>
<p>【協議事項・審議事項】</p>	

<p>(1) 2015 年度事業方針案 および事業計画立案 のスケジュールに ついての検討</p> <p>(2) RTC 間協力会合の開催 について</p> <p>(3) 正会員入会について</p> <p>(4) 認証規格プロジェクト進 捗状況報告ならびに意見 交換</p>	<p>2015年度事業方針案および事業計画立案のスケジュールが事務局より提出され、事業方針案の検討を行った。事業方針案は中期計画（～2018年度）の5つの重点目標を踏まえて立案し、それを元に具体的な事業を計画していく。</p> <p>【2015年度事業方針案】</p> <p>1 市民発の子どもへの暴力防止のウェーブの起点をつくるしかけを行う 2 子どもの安心・自信・自由をサポートできるおとな、そのおとなを援助するセイフティ・ネットをつくるしかけを行う</p> <p>① 子どもへの暴力防止活動の支援者・理解者の一層の拡大 ② 社会発信ツールの整備によるCAPプログラム普及の強化 ③ 社会的養護における活動の充実 ④ 子どもへの暴力防止のためのネットワークの拡大・強化 ⑤ ①～④を展開する体制の強化</p> <p>＜決議事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度事業方針案について承認し、次回理事会にて事業計画の検討を行う。 ・2015年度定時総会は2015年5月30日（土）に行い、翌日研修を行う。 <p>J-CAPTA より中学生暴力防止プログラムトレーナー養成等に関する協力会合の申し出があった。今回はCCJが幹事役となる回となっている。</p> <p>＜決議事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RTC間協力会合には理事も同席する。 <p>CAP Action（大阪市）からCAP活動を行うための登録申請および正会員入会の申し込みがあった。事務局からは、直接CAP活動のための条件を確認を行い、近隣のCAPグループにも活動開始の連絡をとったことが併せて報告された。</p> <p>＜決議事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CAP Action（大阪市）の正会員入会を認める。 <p>パナソニック NPO サポートファンドで検討してきた社会的指標の策定については、助成事業終了後の今年度は「認証規格プロジェクト」として、新たに子ども系 NPO の方々に依頼し新プロジェクト（11人で構成）を設置した。7月にキックオフミーティングと学習会、8月と11月に検討を行い、指標のめざすこと・作成にあたっての留意についての枠組みは設定できた。今後2～3回の検討で、安心・自信・自由をキーワードに、その枠組みで項目を設定していくことになる。</p> <p>ここまでの進捗について、理事会で意見交換を行った。</p>
<p>【議事録署名人】</p>	<p>島村理事、鷺見理事</p>

議事要旨作成：長谷